



氏名 勝間 靖 (Ph.D., LL.M.) カツマ ヤスシ

役職 国立研究開発法人 国立国際医療研究センター
国際医療協力局
グローバルヘルス政策研究センター
グローバルヘルス外交・ガバナンス研究科 研究科長

専門分野

- グローバルヘルス外交
- グローバルヘルス・ガバナンス
- 健康のための法律

メッセージ

グローバルヘルス課題の政治的・社会的・法的な側面に注目しながら、グローバルヘルス外交、グローバルヘルス・ガバナンス、「健康のための法律」の研究を進める。

略歴

1985 英国の科学探検プロジェクトで、ホンジュラスのモスキティア地方を踏査

1985-1986 カリフォルニア大学サンディエゴ校 Revelle カレッジ留学

1983-1987 国際基督教大学教養学部卒業（教養学士）

1987-1989 大阪大学法学部（国際関係法コース）卒業（法学士）

1989-1991 大阪大学大学院法学研究科（国際関係法学コース）博士課程前期修了（法学修士）

1991-1995 海外コンサルティング企業協会 開発研究所 研究員
(バングラデシュ、フィリピン、タイ、パラグアイ、ロシア極東で調査)

1995-1996 ボリビア連帯銀行 客員研究員（ラパスとコチャバンバで調査）

1993-1997 ウィスコンシン大学マディソン校 農学・生命科学カレッジで Ph.D.（開発学）取得

1998-2006 国連児童基金（UNICEF）職員（メキシコ、アフガニスタン、パキスタン、東京で勤務）

2003-2009 アジア経済研究所開発スクール 客員教授

2007-2010 日本国際連合学会 事務局長・理事

2011-2012 ジョージ・ワシントン大学エリオット国際関係大学院 客員研究員

2014-2017 国際開発学会 副会長

2016-2018 国連開発計画（UNDP）『人間開発報告書』諮問パネル委員

2018 世界保健機関（WHO）西太平洋地域事務所「健康のための法律」アドバイザー

2006-現在 早稲田大学大学院アジア太平洋研究科（国際関係学専攻）教授（元研究科長）

2016-現在 国立国際医療研究センター グローバルヘルス政策研究センター 研究科長

2017-現在 ジョイセフ 理事

2018-現在 早稲田大学 評議員

2018-現在 *The BMJ* 国際諮問評議会メンバー

2019-現在 日越大学グローバルリーダーシップ修士課程プログラム 共同ディレクター・教授

主要論文

1. 勝間靖 (2020) 「第3章 UHCの国際的な伝播とグローバルヘルス外交」 城山英明 [編著] 『グローバル保健ガバナンス』 東信堂.
2. 勝間靖 (2020) 「[すべての人に健康を] の国際的潮流におけるUHCの推進～健康への権利、PHC、SDGsを背景として」 『国連研究』 21号、pp.163-171; 233-234.
3. Krishna D. Rao; Saeda Makimoto; Michael Peters; Gabriel M. Leung; Gerald Bloom; Yasushi Katsuma (2019), “Chapter 7: Vulnerable populations and universal health coverage,” Kharas, Homi; McArthur, John W.; Ohno, Izumi (Eds). *Leave no one behind: Time for specifics on the Sustainable Development Goals*, Washington, DC: Brookings Institution Press, pp.129-148.
4. Gerald Bloom; Yasushi Katsuma; Krishna D Rao; Saeda Makimoto; Jason D C Yin; Gabriel M Leung (2019), “Next steps towards universal health coverage call for global leadership,” *The BMJ*, 365:12107.
5. 国際開発学会 [編]、勝間靖ほか [編集幹事] (2018) 『国際開発学事典』 丸善出版.
6. 勝間靖 (2018) 「難民のための人間の安全保障」 『アジア太平洋討究』 32号、pp.47-54.
7. 勝間靖 [編著] (2018) 『持続可能な社会をめざして～私のSDGsへの取組み』 国際書院.
8. Yasushi Katsuma (2017), “Ebola virus disease outbreak in Guinea in 2014: Lessons learnt for global health policy,” *Journal of Asia-Pacific Studies*, No.28, pp.45-51.
9. Yasushi Katsuma; Hideaki Shiroyama; Makiko Matsuo (2016), “Challenges in achieving the health Sustainable Development Goal: Global governance as an issue for the means of implementation,” *Asia-Pacific Development Journal*, Vol.23, No.2, pp.105-125.
10. Yasushi Katsuma (2016), “A whole-of-society approach to global health policy in Japan: ‘Global Health and Human Security Program’ of the Japan Center for International Exchange (JCIE),” *Journal of Asia-Pacific Studies*, No.27, pp. 117-124.
11. Hideaki Shiroyama; Yasushi Katsuma, Makiko Matsuo (2016), “Rebuilding global health governance: Recommendation for the G7,” *PARI Policy Brief*, The University of Tokyo, Policy Alternatives Research Institute (PARI).
12. マイケル・ケリー、勝間靖 [訳・解説] (2015) 『HIV／エイズと教育政策 [ユネスコ国際教育政策叢書9巻]』 東信堂.
13. 勝間靖 (2013) 「I部9章：人間の安全保障」 日本国際保健医療学会 [編] 『国際保健医療学 [3版]』 杏林書院、pp.30-33.
14. 勝間靖 [編著] (2012) 『テキスト国際開発論～貧困をなくすミレニアム開発目標へのアプローチ』 ミネルヴァ書房.
15. 勝間靖 (2010) 「第7章：アフリカにおける保健・環境衛生論～マラリアとの闘いを中心として」 船田クラーク・センサヤカ [編] 『アフリカ学入門～ポップカルチャーから政治経済まで』 明石書店、pp. 170-188.
16. Yasushi Katsuma (2010), “Global health governance for combating infectious diseases” *The United Nations Studies*, Vol.11, pp. 47-66.
17. 兵藤智佳・勝間靖 (2009) 『国際保健をめぐる政策決定プロセスにおける日本のNGOの役割と課題』 日本国際交流センター.
18. 内海成治・中村安秀・勝間靖 [編著] (2008) 『国際緊急人道支援』 ナカニシヤ出版.
19. Keizo Takemi; Masamine Jimba; Sumie Ishii; Yasushi Katsuma; Yasuhide Nakamura (2008) “Human security approach for global health,” *The Lancet*, Vol.371, pp.13-14.